

第7回 ブーストアップ&ロールケージ編

小林カツオ インプレッサ チューニングプロジェクト



現在のカツオ号のエンジン関係チューニングは、ブーストアップ、等長エキマニ(クスコ)、前置きインタークーラー(クスコ)、大会用ラジエター(ARC)、マフラー(クスコ)こいで3000psオーバーを実現!

おーい、読者のみんな、ブーストアップの基本は頭に入ったかな。好評連載小林カツオインプレッサチューニングプロジェクト。今回はブーストアップの実走チェックをしてみるぞ!

さて、今回はブーストアップとロールケージの装着だぞ! まずはブーストアップしたれつちゃ号のインプレからだ。タコ足、フロントインタークーラー、エアクリナーとくればブーストアップしないわけにはいかんでしょー!というところで、コンピューターでブーストアップをしたんだよ。ブースト圧は、最大1.3kg/cmまでオーバーシュートして1.2kg/cmで落ち着くように設定した。シャシダイナモでのパワーチェックでは、312psになったぞ! あつそれと、燃料ポンプはノーマルのままでけど、ポンプの電圧を安定させるために、配線を太くしたんだ。

それじゃ、インプレッサのインプレさ。とりあえず全開にしてみるか。はつ、速えー!上までパワー感がずーっと続いている感じだ。中間トルクも上がっているな。4000rpm付近でフルブーストが掛かって、7000rpmを過ぎてはパワー感があがるんだ。なんか、今までのエンジンとは違うんじゃない?と思うくらい軽くなったな。街乗りでも、レスポンスがよくなったんだぞ。なーんだ、こんなにイイならもっと早くやればよかったな。

日光サーキットも走ってみただけど、やっぱり今までの感じとは明らかに違い、ストレートスピードが速いのは当然だけど、コーナーでのアクセルコントロールがすごく楽になったんだ。パワーオンでのドリフトの維持も、しやすくなったし、とにかく、コーナー立ち上がりも速くなったぞ! まあ、当然といえば当然なんだけどね。

今回のブーストアップは、コンピューターと、オリフィスでブースト圧をコントロールしているんだけど、ブーストコントロールローラーつけたいな。えつ、なに? タービン交換しろって? うーん、それもイイかな。でも、ミッション大丈夫なのかな? お次はロールケージだ。オレのれつちゃ号に取り付けたのは、セーフティ21の4点式をベースに、斜行バーとサイドバーを追加したもの。斜行バーとサイドバーには、今流行りの取り外し可能タイプを選択したぞ。なぜ4点式なのかって? そう、最初は6・7点式を取り付けようかなーとも考えたんだけど、ボディ剛性が高くなりすぎて、サスペンションやら、タイヤの評価が変わってしまうそうだからなんだよ。オレのれつちゃ号って、いろんなテストにも使っているからさ。

ロールケージの本来の役目としては、クルマが転倒したときに、ルーフがつぶれてドライバーが怪我をするのを防ぐことなんだけど、ヘルメットをかぶっていないと、逆にロールケージに頭をぶつけて痛む目にあう……

今回サイドバーも取り付けただけど、乗り降りに邪魔にならないように、メインアーチから運転席のフロアに付けたんだ。これなら、ドアを「ドッカーン」と、ぶつけられても安全だな。うーん、これはイイと思うよ! さてお次は……次号をお楽しみに!

カツオ号に装着したのはキャロツセーフティ21ロールケージ。ジョイントキックを使えば今までのロールケージにさらにパワーを追加してやるのが可能だ!



こちらはクスコの競技車両のサイドバー。剛性はうちりだけと、ここまで強化しちゃうと乗り降りも大変だ。



今回のブーストアップは、コンピューターと、オリフィスでブースト圧をコントロールしているんだけど、ブーストコントロールローラーつけたいな。えつ、なに? タービン交換しろって? うーん、それもイイかな。でも、ミッション大丈夫なのかな? お次はロールケージだ。オレ

水平対抗ドッド NEWS!

TRIAL TRY-キット ナンバータイプ 発売



フロントバンパースポイラー	9万2000円
フロントメッシュグリル	2万8000円(後期型のみ)
エアロボンネット	10万4000円(後期型のみ)
サイドステップ	6万8000円
リヤバンパースポイラー	7万8000円
リヤウイングスポイラー	9万4000円
ボンネットエアダクト	1万5000円(前期型のみ)
ボンネットカーボンエアスクープ	3万3000円(前期型用) 3万5000円(後期型用)

●問い合わせ トライアルプロジェクト 〒587-0011 大阪府南河内郡美原町丹上91-1 ☎0723-62-7776